

問1

構築中のサーバに一般ユーザを追加しなさい。ユーザ名はどのようなものでも構いません。(ただし、rootなど既に使われている名前は使うことができません。既に使われている名前は、/etc/passwdファイルを確認するとわかります。)

3つ以上のユーザを追加すること。追加したのち、次のことを確認して、レポートに書きなさい。

- /etc/passwdファイルに追加された新しいユーザの情報
- /home以下に作成された、ユーザのホームディレクトリ

問2

問1で作成したユーザ(1ユーザでよい)のホームディレクトリに次の2つのフォルダを作成し、指示通りにアクセス権を設定しなさい。(フォルダ名はpublic, privateとすること。)

レポートには、新規にディレクトリを作成した際にアクセス権がどのようになっている、それをどのようなコマンドをどのように用いて変更したかを示しなさい。設定後、ディレクトリのアクセス権を含む情報をlsコマンドで表示し、その内容をレポートに記述しなさい。

- publicディレクトリ：
 - 所有者は問1で作成したユーザ、グループはユーザと同じ名前のグループとする。
 - 所有者とグループのユーザは「読み出し」、「書き込み」、「実行」すべて行うことができるが、その他のユーザは「読み出し」と「実行」のみ行うことができるようにすること。
- privateディレクトリ
 - 所有者は問1で作成したユーザ、グループは"root"グループとする。
 - 所有者は「読み出し」と「書き込み」を行うことができるが、グループおよびその他のユーザは「読み出し」、「書き込み」、「実行」すべて行うことができないようにすること。

※chown, chgrp, chmodの操作は、suコマンドでrootユーザに変更してから実行してください。

(suコマンドはスーパーユーザ(管理者, rootユーザのこと)に変更するためのコマンドで、ユーザを指定するとそのユーザに変更できます。suコマンドの - オプションは変更後のユーザの環境に切り替える(現在の環境を引き継がない)ためのオプションです。satoというユーザを作成して実行する場合、su - sato でユーザがsatoに切り替わり、satoのホームディレクトリに移動します。そこでpublic, privateのフォルダを作成して、suでrootユーザに切り替えますが、この時はsuコマンドで-オプションはつけずに、satoのホームディレクトリで作業します。suコマンドを抜けて元のユーザに戻るには、exitコマンドを実行します。)

```
sato@svr01:/home/sato
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
[admin@svr01 ~]$ su - sato      ← adminでログイン, "su - sato"でユーザをsatoに変更
パスワード:
[sato@svr01 ~]$ mkdir public    ← ユーザsatoのホームディレクトリでフォルダを作成
[sato@svr01 ~]$ mkdir private
[sato@svr01 ~]$ ls -l
合計 0
drwxrwxr-x. 2 sato sato 6  7月  2 22:14 private
drwxrwxr-x. 2 sato sato 6  7月  2 22:14 public
[sato@svr01 ~]$ su              ← 管理者(root)に変更する。(オプションはつけない)
パスワード:
[root@svr01 sato]# ls -l
合計 0
drwxrwxr-x. 2 sato sato 6  7月  2 22:14 private
drwxrwxr-x. 2 sato sato 6  7月  2 22:14 public
[root@svr01 sato]#              ← ここからchown, chgrp, chmodコマンドを実行する
```

(ここで問2の作業を行う)

```
[root@svr01 sato]#
[root@svr01 sato]# exit      ← exitコマンドを実行すると, suで変更したユーザから元のユーザに戻る
                              (ここでは, 管理者(root)からsatoに戻る)
exit
[sato@svr01 ~]$ exit        ← exitコマンドで, satoからadminに戻る
ログアウト
[admin@svr01 ~]$
```

問3

構築中のサーバの, ネットワークの設定を行いなさい。「ホスト名」,
「IPアドレス」, 「ネットマスク」, 「ブロードキャスト」, 「デフォルトゲートウェイ」を, 別途
指定されたとおりに設定すること. 設定した内容を, (1)設定ファイルを表示して確認する
か, (2)CUIからコマンドを用いるか, どちらかの方法(あるいは両方)で確認し, その内容をレポート
に記述すること.

(VirtualBoxを使う場合の設定)

ホスト名: svr01

IPアドレス: 10.0.2.100

ブロードキャスト: 10.0.2.255 (Webminでは自動設定)

デフォルトゲートウェイ: 10.0.2.2

※問1〜問3のレポート作成において, 画面に表示された情報を記述する必要がある場合, キャプチャ
した画面を用いてもよい.